

平成21年9月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年8月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 アテナ工業株式会社
 コード番号 7890 URL <http://www.athena-kogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 下野泰輔
 (氏名) 小木曾範夫

TEL 0575-24-2424

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第3四半期の業績(平成20年10月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第3四半期	7,090	—	296	—	327	—	185	—
20年9月期第3四半期	7,201	△0.4	212	13.7	225	10.8	13	△85.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第3四半期	19.45	—
20年9月期第3四半期	1.41	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月期第3四半期	9,737	6,056	62.2	635.91
20年9月期	9,830	5,987	60.9	628.65

(参考) 自己資本 21年9月期第3四半期 6,056百万円 20年9月期 5,987百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年9月期	—	5.00	—	—	—
21年9月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年9月期の業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	4.7	360	39.0	400	45.9	200	1,040.0	21.00

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、3～4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、3～4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年9月期第3四半期	9,524,070株	20年9月期	9,524,070株
② 期末自己株式数	21年9月期第3四半期	440株	20年9月期	440株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年9月期第3四半期	9,523,630株	20年9月期第3四半期	9,523,803株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3～4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、一部の景気指標で改善傾向が見られたものの、昨年末の世界的な金融危機による外需の落ち込みや円高が続く中、先行き不透明感は払拭できておらず、設備投資の減退、雇用不安、消費の低迷などの厳しい状況が続いております。

プラスチック製食品包装容器業界におきましては、大手スーパー、コンビニエンスストアなどがPB商品を多数投入し、需要の喚起を促すなど、価格競争が熾烈な様相を呈している状況から、より一層の低価格化が進みつつあります。

このような状況のもと、当社といたしましては、顧客ニーズに応えるため「安全・安心」をテーマにより良い製品作りを目指し、生産の効率化や技術力をもとに、前期に新製品「ペプラカップ」を上市いたしました。また、製品価格の見直し、原価低減などを行い、収益確保に努力いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間において、売上高は7,090百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は296百万円（前年同期比39.7%増）、経常利益は327百万円（前年同期比45.2%増）、四半期純利益は185百万円（前年同期比1,282.1%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

財政状態の分析

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ92百万円減少し、9,737百万円となりました。これは主に、現金及び預金が75百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ161百万円減少し、3,681百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が258百万円減少し、短期借入金が100百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、四半期純利益の計上等により、前事業年度末に比べ69百万円増加し、6,056百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ90百万円減少し、1,373百万円となりました。

これは営業活動によるキャッシュ・フローが349百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが438百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが4百万円の収入となったこと等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後の国内景気の見通しにつきましては、世界的な景気後退や雇用不安等の懸念材料が多く、引続き予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような状況の下で、平成21年9月期の業績予想につきましては、平成20年11月12日に公表いたしました数値から変更はございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して第2四半期会計期間末における実地棚卸高を基礎とした合理的な方法により算出しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

これにより、当第3四半期累計期間に係る営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ11,218千円減少しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,558,937	1,634,227
受取手形及び売掛金	2,294,800	2,302,718
商品及び製品	471,752	362,152
仕掛品	53,612	30,137
原材料及び貯蔵品	167,083	277,069
その他	74,833	122,119
貸倒引当金	△130	—
流動資産合計	4,620,889	4,728,423
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,216,703	1,283,385
機械装置及び運搬具(純額)	1,109,467	1,179,011
土地	967,899	966,719
その他(純額)	443,148	400,478
有形固定資産合計	3,737,219	3,829,595
無形固定資産	73,681	53,343
投資その他の資産		
投資有価証券	810,583	748,418
その他	567,847	535,157
貸倒引当金	△40,869	△33,330
投資損失引当金	△31,600	△31,600
投資その他の資産合計	1,305,960	1,218,646
固定資産合計	5,116,861	5,101,585
資産合計	9,737,750	9,830,009
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,781,999	2,040,136
短期借入金	900,000	800,000
未払法人税等	74,671	79,300
役員賞与引当金	—	20,600
賞与引当金	62,348	124,700
その他	500,215	437,042
流動負債合計	3,319,233	3,501,778
固定負債		
退職給付引当金	145,423	139,684
役員退職慰労引当金	216,970	201,490
固定負債合計	362,393	341,174
負債合計	3,681,626	3,842,952

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,293,733	1,293,733
資本剰余金	1,322,776	1,322,776
利益剰余金	3,454,630	3,364,639
自己株式	△144	△144
株主資本合計	6,070,996	5,981,004
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,872	6,051
評価・換算差額等合計	△14,872	6,051
純資産合計	6,056,124	5,987,056
負債純資産合計	9,737,750	9,830,009

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)
売上高	7,090,578
売上原価	5,656,627
売上総利益	1,433,951
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	147,588
賞与引当金繰入額	14,107
退職給付費用	4,630
役員退職慰労引当金繰入額	15,870
運賃	497,735
その他	457,711
販売費及び一般管理費合計	1,137,643
営業利益	296,307
営業外収益	
受取利息	1,784
受取配当金	14,922
受取保険金	18,506
その他	8,598
営業外収益合計	43,812
営業外費用	
支払利息	5,289
為替差損	6,935
営業外費用合計	12,224
経常利益	327,895
特別利益	
受取補償金	8,982
特別利益合計	8,982
特別損失	
固定資産処分損	35
投資有価証券評価損	2,227
会員権評価損	8,039
特別損失合計	10,302
税引前四半期純利益	326,575
法人税、住民税及び事業税	131,536
法人税等調整額	9,811
法人税等合計	141,347
四半期純利益	185,227

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	326,575
減価償却費	360,247
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,600
賞与引当金の増減額(△は減少)	△62,352
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,738
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15,480
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,669
受取利息及び受取配当金	△16,707
投資有価証券評価損益(△は益)	2,227
会員権評価損	8,039
支払利息	5,289
固定資産処分損益(△は益)	35
売上債権の増減額(△は増加)	7,918
たな卸資産の増減額(△は増加)	△23,089
仕入債務の増減額(△は減少)	△258,136
その他	116,001
小計	474,337
利息及び配当金の受取額	16,691
利息の支払額	△5,284
法人税等の支払額	△135,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	349,841
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△135,130
定期預金の払戻による収入	120,000
投資有価証券の取得による支出	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△295,620
無形固定資産の取得による支出	△31,821
保険積立金の積立による支出	△41,243
保険積立金の払戻による収入	44,326
その他	584
投資活動によるキャッシュ・フロー	△438,904
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	100,000
配当金の支払額	△95,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,763
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,120
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△90,419
現金及び現金同等物の期首残高	1,463,510
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,373,090

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約) 前四半期損益計算書

	前第3四半期累計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年6月30日)
区分	金額(千円)
I 売上高	7,201,778
II 売上原価	5,838,326
売上総利益	1,363,452
III 販売費及び一般管理費	1,151,320
営業利益	212,131
IV 営業外収益	20,576
V 営業外費用	6,835
経常利益	225,872
VI 特別利益	18,212
VII 特別損失	217,084
税引前四半期純利益	26,999
税金費用	13,598
四半期純利益	13,401

(要約) 前四半期キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間(平成19年10月1日から平成20年6月30日)

	前年同四半期 (平成20年9月期第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	26,999
減価償却費	243,185
役員賞与引当金の増減額	△ 15,160
賞与引当金の増減額	△ 61,339
退職給付引当金の増減額	△ 12,397
役員退職慰労引当金の増減額	198,310
貸倒引当金の増減額	1,950
受取利息及び受取配当金	△ 15,793
会員権評価損	1,980
支払利息等	4,201
固定資産処分損益	594
売上債権の増減額	491,390
たな卸資産の増減額	△ 365,787
仕入債務の増減額	70,260
その他	72,853
小計	641,248
利息及び配当金の受取額	15,748
利息の支払額	△ 4,499
法人税等の支払額	△ 55,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	596,678
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△ 135,109
定期預金の払戻による収入	120,000
投資有価証券の取得による支出	△ 100
出資金の分配による収入	1,179
その他投資の取得による支出	△ 14,481
有形固定資産の取得による支出	△ 785,608
有形固定資産の売却による収入	3,404
無形固定資産の取得による支出	△ 15,327
その他	△ 15,518
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 841,560
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	200,000
自己株式の取得による支出	△ 110
配当金の支払額	△ 95,493
財務活動によるキャッシュ・フロー	104,395
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	3,466
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 137,019
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,491,156
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,354,136